「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | | ②職名・授業者氏名 | | ③教科 | ④ペアでの  話合い活動 | ⑤グループでの  話合い活動 |
| ３年１組 | | **日田　太郎** | | 英語 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | | The Story of Chocolate (PROGRAM 5) | | | | |
| ⑦本時のねらい | | 書き手の伝えたいことを  関係代名詞（主格）を含む英文を読んで、カカオ産業やフェアトレードに関する事実やその概要・要点をまとめることを通して、  質問等に即興で答えることができる。 | | | | |
| ⑧本時の評価規準 | | 【思考・判断・表現】読むこと  カカオ産業やフェアトレードに関する英文を読んで、概要・要点を捉えてまとめ、書き手の伝えたいことについて即興でやりとりしている。〔後日ペーパーテスト〕 | | | | |
| ⑨  展開 | めあて | チョコレート産業についての英文を読んで、エミリーの言いたいことを読み取り、友だちと伝え合おう。 | | | | |
|  | 課　題 |  | | | |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の生徒への手立て  ・読む前に音声を聞かせ、意味のまとまりごとで区切って読ませる。  ・まとまった文章の内容の理解が難しい生徒には、絵や図を使ってやりとりをした内容から関係代名詞の働きやキーワードを確認し、要点を掴ませる。 | | | |
| 「特別な支援等の配慮を要する」生徒への手立て  ・文字を読むことが難しい生徒には、文字を拡大した英文を準備し、状況に応じて読む量を減らす。 | | | |
| まとめ |  | | | |
| 振り返り | ・人やものを詳しく説明するときはthatを使って後ろから修飾する。  ・同じことを伝えようとしているのに、他の表現方法があることがわかった。  ・自分の好きな人やものをより詳しく説明するときに関係代名詞を使ってみたい。 | | | | |
| The Story of Chocolate (PROGRAM 5)  ポイント  ・先行詞が＜人・もの＞のときはthatを使って詳しく説明  a movement that improved farmer’s lives  どんな～かというと  めあて　チョコレート産業についての英文を読んで、  エミリーの言いたいことをまとめ、友だち  に伝えよう。  Dark side of chocolate  （１）カカオ農場で働く人  　 ・very poor　　　　　　　　　　　　　　　　＋Plus 1　本文に１文付け加えてみよう  （２）フェアトレード　　　　　　　　　　　　　　・I didn’t know the history of chocolate  　　・a fair price and sell chocolate　　　　　　　・I want to buy “fair trade chocolate”.  （３）その他　　　　　　　　　　　　　　　　　　・It’s not good for children to force  　　・many children force to work　　　　　　　　 to work.  　　・unfairly low price 振り返り | | | | | | |